

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト		
事務事業名	名古屋港湾会館の管理・運営				連絡先	052-654-7836
目的	対象(誰・何を)	港湾関係者、船員その他海事関係者を始めとした利用者			事業期間	平成18年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	文化及び教養の向上と福祉の増進を図ります。				
概要	名古屋港湾会館の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。				根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港湾会館条例
令和元年度の実施予定	会議室の提供を行い、施設を良好に管理しながら、更なる利用促進に努めていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	会議室の利用促進に努め、2414件の利用がありました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	31,236	31,609	66,042	42,962	
人件費	千円	4,659	3,780	3,761	4,067	
合計	千円	35,895	35,389	69,803	47,029	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
会議室の利用率(%)	目標	33	33	33	35	過去の実績等を踏まえた目標利用率 (年間利用回数÷(年間営業日数×室数×3)) ※ 3は午前・午後・夜間の使用区分)	
	実績	26	33	32			
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値を下げ下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標							
実績							
事業進捗状況(元年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	会議室の利用率は、既存利用者への再利用の促進など、稼働率向上に努めましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためのキャンセルの影響により、目標をやや下回りました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？					
	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？					
有効性	○	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？					
	△	期待どおりの成果が得られているか？					
効率性	○	最小のコストとなっているか？					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、港湾関係者を始めとした利用者に会議室の提供を継続する必要があるため。 また、目標値をやや下回るものの、概ね達成しているため成果・コストは維持とします。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題		2年度以降の取組	
利用率の向上に向けた周知や営業等の取組とともに、安心して利用してもらえるよう、感染症の拡大防止対策を強化する必要があります。		施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供及び感染症の拡大防止対策に努めるよう指定管理者に対し、指導・助言を行います。	